

2019年4月
No.19-043a(本)※1

「副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)」 検査内容変更案内/一部訂正のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて過日、下記項目については本年3月30日より検査内容を変更させていただくことを
ご案内させて頂きましたが(Information19-035a(本)※1)、一部記載内容に漏れがございました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の通り変更内容を追加させていただきます。

敬具

記

■対象項目／追加箇所

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
37	6967	副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)	検査方法	ECLIA [ロシュ・ダイアグノスティックス]	CLEIA [DS ファーマ]
			基準値	<u>14.9～56.9 pg/mL</u>	<u>8.3～38.7 pg/mL</u>
			報告下限	<u>5.5 pg/mL 未満</u>	<u>4.0 pg/mL 未満</u>
			報告上限	<u>100,000 pg/mL 以上</u>	<u>999,000 pg/mL 以上</u>

※下線部分が変更内容の追加箇所です。

※新旧二法の相関は裏面をご確認下さい。

■変更期日

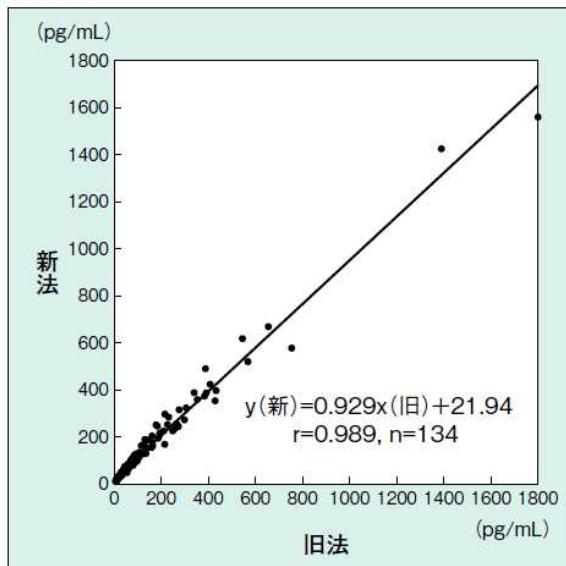
●2019年3月30日(土)受付日分より

副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)

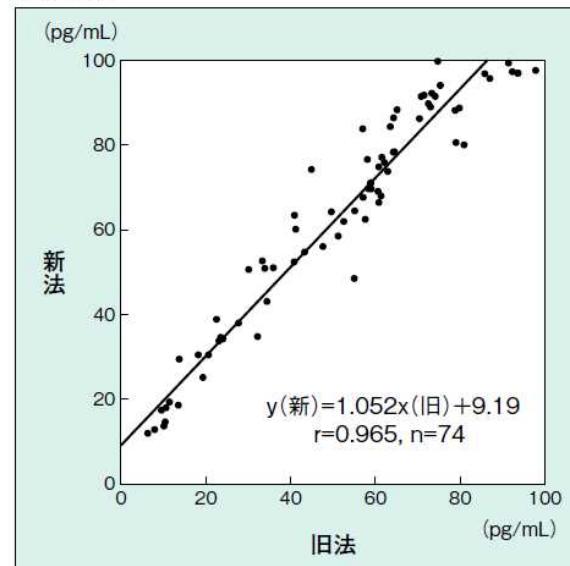
Whole-PTH の測定試薬を別のメーカーが販売する ECLIA 法試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好ですが、基準値を測定試薬の添付文書記載値に変更致します。

■新旧二法の相関

【全域】



【低値域】



(LSIメディエンス検討データ)

■参考文献

吉野亜紀, 他: 埼臨技会誌 61(1):1-6, 2014.